

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

志木ロータリークラブ



2024-25年度 国際ロータリー会長 ステファニー・アーチック 「ロータリーのマジック」
 2024-25年度 第2570地区ガバナー 五十幡和彦 「入って良かったロータリー」
 2024-25年度 志木ロータリークラブ会長 三上隆俊 「更なるクラブの魅力を協創しよう」

第2406回 例会

2024-9-18

- ◎司会 國分 学 副会長
- ◎点鐘 三上 隆俊 会長
- ◎ソング 我等の生業
- ◎ソングリーダー 細田 いづみ 副SAA
- ◎四つのテスト 細田 いづみ 副SAA
- ◎ゲスト 岩崎 壮志様
 (志木市教育委員会学校教育課)
 林 雄一先生
 (細田学園高校インターアクトクラブ)
 池ノ内 茂生様
 (ボーイスカウト志木第一団)
 宮川 慎太郎様 (入会予定者)
 木下 哲男様 (オブザーバー)



第一団池ノ内様、入会予定者の宮川様、ご入会ご検討中の木下様、皆様ようこそおいで下さいました。

さて、今月は1日に地区の社会奉仕セミナーへ上原会員と出席、7日に遠藤会員が役員としてご活躍されている、地区の財団セミナーへ宮原俊介会員と出席し、見聞を広げてまいりました。また、10日に地区のチャリティーゴルフにご参加された、スポーツ担当の吉原会員をはじめとする皆様、残暑厳しい中お疲れ様でした。

本年度は、絵画審査会を従来の社会奉仕事業から、青少年奉仕事業へと組み換えをさせていただきました。社会奉仕委員会の多岐にわたる事業の軽減を図りたいことも一つですが、社会の問題の一つとして、子ども達の健全な育成に、寄与していきたい表れが理由です。

地区のセミナーで、他クラブの奉仕事業の発表があり、世相に反映し青少年への奉仕の活動が多く目を引きました。現代社会では情報が氾濫し、真実かどうか見抜く力も必要で、ニーズに対する迅速な対応を求められるケー



ソングリーダー 細田いづみ副SAA

「会長挨拶」

会長 三上隆俊

皆様こんにちは。9月も半ばとなり、朝晩の空気が若干秋に変わってきた様に感じます。

本日も多くの会員の皆様にご出席をいただき、感謝を申し上げます。

ご来訪者の志木市教育委員会教育課岩崎様、細田学園高校の林先生、ボーイスカウト志木

スも多々あります。基礎となる信念、ロータリーで言えばフィルターとなる「四つのテスト」に照らし、抽象的ですが、地味であっても自身が出来ることを継続していく大切さも感じました。また、間接的であっても、社会問題の解決に強い使命感や、才能を持った方たちへ、支援し、託していきたい気持ちが募りました。

本日も、出来ることは自で、共感出来ても、出来ないことは、魅力ある方たちを支援し託すスタンスで、慎重なご審査をお願いし、相変わらずの雑駁ですが、会長挨拶と致します。

「幹事報告」

幹事 田中幸彦

1. RI 日本事務局より 9月のレート受信
\$1=¥145
2. 地区事務所よりポリオプラス・ソサエティ参加申込書提出案内受信
3. 志木市社会福祉協議会「特別会員」加入依頼受信
4. ハイライトよねやま Vol.294 2024.9.12

「助成金贈呈」

会長 三上隆俊



細田学園高等学校インターアクトクラブ顧問林雄一先生



ボーイスカウト志木第一団団委員長池内茂生様

「委員会報告」

●社会奉仕委員会 委員長 西川和人
川と街をきれいにする運動のおしらせ

日時：10月27日(日)

今年は五十幡ガバナーのご意向、三上会長のご賛同もあり、参加者はエンド・ポリオ・ナウのTシャツを、ロータリージャンパーの下に着用して下さい。

希望の風奨学金よりのおしらせ

お手許の『友』に昨年の記録が掲載されております。P26には収支決算書も載っておりますが、コロナが明けてこのように多額のご支援金を頂きました。引き続き 2033 年までご支援をよろしくお願い申し上げます。

●公共イメージ委員会 委員長 遠藤貴博

川街でエンド・ポリオ・ナウのTシャツを

先程西川社会奉仕委員長からもお話がありましたが、川街の際のエンド・ポリオ・ナウTシャツ着用をお願い致します。

●親睦活動委員会 スポーツ担当 吉原 正
商工会チャリティ・ゴルフ参加依頼

皆様のご参加をお待ちしております。

「『ロータリーの友』記事紹介」

雑誌委員会 委員 原 孝一



『ロータリーの友』10月号記事紹介

【縦組】

P9-12 この人訪ねて

【横組】

P14-19 ロータリーの友をフォローする地区のリーダーたち

ロータリーの友地区代表から一言

P24-27 ロータリー希望の風奨学金

P32-37 ロータリー・アットワーク

第23回志木市いろは子ども文化賞
「美術部門」審査会

「卓話」

「令和6年度いろは子ども文化賞
美術部門審査会にあたり」

志木市教育委員会学校教育課
指導主事 岩崎壮志様



本日は志木ロータリークラブ例会の開催に際して、志木市教育委員会を代表して、ご挨拶申し上げます。

三上隆俊会長様をはじめ、志木ロータリークラブ会員の皆様には、日頃より、本市の教育に様々なご尽力をいただいていることに感謝申し上げます。

また、いろは子ども文化賞に関しても、特段のご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。

いろは子ども文化賞は、志木の子どもたちに「ふるさとを愛し、見つけ、大切に作る心」を養い、「豊かな感性、表現力、創造性を育む」ために、平成14年4月に創設されました。おかげさまをもちまして、今年度で23回目を迎えることができました。

今年度も「夢」「絆」「志木の魅力」をテーマとし、

作文部門	29点、
研究部門	25点、
美術部門	168点、
ポエム部門	149点、
そして田子山富士塚部門	263点、
総計	634点の応募がありました。

これまで、志木ロータリークラブをはじめとします地域の方々のご協力により、いろは

子ども文化賞「美術部門」の優秀作品は、「ふるさと絵画集」という形で広く市民に親しまれてまいりました。

こうした作品集は、児童・生徒や保護者の方々への大きな励みになるとともに、志木市内の小中学校図工・美術教育の発展にも大きな力となっております。

さて、今年度も、11月2日、3日、4日に行われる市民文化祭と共催で、いろは子ども文化賞受賞作品の展示を行います。例年、市民文化祭には、多くの市民の方々にお越しいただいています。

ご家族で受賞作品を鑑賞される方も大変多く、作品を見ながら互いに会話を弾ませるなかで、ますます「ふるさとを愛し、見つけ、大切に作る心」が育まれていくことと期待しております。

皆様におかれましても、作品展の様子をご覧いただくと幸いです。

さて、これより志木ロータリークラブの皆様には、いろは子ども美術部門作品のご審査をお願いいたしますが、ここに選ばれた作品は、子どもたちの目線で「ふるさと志木」を見つめたものや、「夢」「絆」をテーマに、想像豊かに表現された、優劣つけがたい作品ばかりでございます。

志木市の子どもたちの夢や絆を感じていただきながら、ご審査いただければ幸いです。

結びにあたり、いろは子ども文化賞や学校での図工、美術教育を通して、心豊かな児童生徒を育むため、今後とも、皆様のご支援、ご協力を賜りたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。



例会は変更になる場合があります。ご確認下さい

■和光RC 毎週(月) 12:30～ うけら庵

■富士見RC 毎週(金) 12:30～ 島田ビル1F

■新座こぶしRC 第1・第3(水) 12:30～ ベルゼノン



最優秀賞は後日、志木市より発表・表彰されます



スマイル発表 神山威仁副SAA



出席報告 高野邦夫委員長

●出席報告 出席向上 委員長 高野邦夫		
会員数48名	出席義務者46名	免除者2名
本日出席 39名	本日出席 9名	本日出席率 81.25%
前々回 MU (7名中0名)	前々回修正出席率 87.50%	平均出席率 86.91%